

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 録

会議名 教育委員会臨時会
開催日 令和6年7月25日（木）午後1時30分～午後4時50分
開催場所 総合教育研修センター
出席者 高須教育長、有山教育長職務代理者、中川委員（オンライン）、中澤委員、山口委員
事務局等出席者
若林教育監兼総合教育研修センター所長、村瀬総合教育研修センター課長、嶋田教育指導課係長、竹山教育政策総務課係長、池田（教育政策総務課担当）

○高須教育長

ただ今から、中学校教科書採択のための教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

本日の案件は、議決事項が1件でございます。

本日の議案第27号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

本日の署名人は、有山教育長職務代理者をお願いいたします。

それでは、資料1ページ、議案第27号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、村瀬課長。

○村瀬総合教育研修センター課長

ただ今御上程いただきました、議案第27号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」、令和7年度使用中学校教科用図書の採択を行いたく、教育委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由といたしまして、令和7年度使用中学校教科用図書の採択のためでございます。

以上でございます。

○高須教育長

それでは、これから協議を行うわけですが、本日協議を行う教科書は、御存じのとおり、教科の主たる教材として使用義務があるものであり、学校教育において、きわめて重要な役割を果たしております。

教科書検定制度のもと、種目ごとに数種類発行されている中から、教科書を採択す

るわけですが、慎重・適正かつ公正に協議を進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さて、採択にあたりまして、我々教育委員会としては、6月下旬に、見本本のすべてについて、担当指導主事と調査研究を行いました。その後、見本本をお預かりし、大阪府の選定資料等を参考にしながら、互いに疑問点や意見を出し合い、勉強してまいりました。また、選定委員による答申の報告を受け、各委員がそれぞれの考えを深めてまいりました。

このような、これまでの協議や、各自の学習をもとに、本日は、各種目1社の教科書を選んでまいりたいと思います。

それでは協議を行っていきたいと思います。ただし、教科書は全てで16種目あり、種目の中には、見本本の発行者が多い種目もございます。見本本の発行者が多い種目につきましては、ある程度に絞って、最終的に1社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

今、教育長がおっしゃったように、発行者が多い種目につきましては、数社に絞って、最終的に1社を採択する方法でよいと思います。

○中澤委員

私もそれでいいと思います。

○山口委員

内容について、まだ不明な点は、その都度御質問させていただいてよろしいでしょうか。

○高須教育長

本日は、調査員の長でもある、校長先生・教頭先生にも来ていただいています。必要であれば、事務局や、調査員にも質問していただいて結構です。

それでは、本日の協議で最終的に本市の子供たちに一番適している教科書を採択してまいりたいと思います。

なお、協議に入る前に、教科書の発行者名を略称で統一させていただきます。

東京書籍は東書、大日本図書は大日本、教育図書は教図、開隆堂出版は開隆堂、学校図書は学図、三省堂は三省堂、教育出版は教出、教育芸術社は教芸、光村図書は光村、帝国書院は帝国、大修館は大修館、啓林館は啓林館、山川出版は山川、数研出版は数研、日本文教出版は日文、Gakkenは学研、自由社は自由社、育鵬社は育鵬社、あかつき教育図書はあか図、日本教科書は日科、令和書籍は令書と呼称することとします。よろしく願いいたします。

それでは、種目「国語」について、協議してまいりたいと思います。現行は光村図書を使用しております。発行者は、全部で4社です。

各観点について、各社の特色等、御意見をいただきながら検討を進めていきたいと

思います。

まず、内容の程度についてはいかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

各社とも、生徒にとって興味・関心のある題材が扱われておりました。

東書では、働き方について考える題材が、三省堂では、これからの生き方について、教出では、生きることを考える題材を、光村においては、3年生で、これまでを振り返るとともにこれからの生き方について語り合う題材が取り上げられていました。

○中澤委員

三省堂では、各学年の「歌の言葉」に人気歌謡曲の歌詞を用いることで生徒の身近な題材を使って生徒が興味を持って学ぶことができるような工夫がされていました。

○山口委員

東書では、コラムにおいて挿絵が効果的に用いられており、こちらも生徒の興味をひく工夫がなされていました。

○高須教育長

次に各社の「組織・配列」についていかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

東書では、各学年で「他教科で学ぶ漢字」のコーナーが設けられており、三省堂と教出、光村では、理科や外国語の学習内容と関連付けられた題材を扱っており、教科横断的な視点をもつことができると思います。

○中澤委員

三省堂では、学びの道しるべにおいて学習の過程が示されており、自主学習にも使いやすいのではないかと思います。

○高須教育長

人権の取扱いについては各社いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

各社とも、戦争や平和、自然環境問題、多様性などSDGsとも関連させた教材が取り上げられていました。

○山口委員

教出では、各学年にSDGsに関する単元が設定されており、光村でも、各学年SDGsに関連する情報を扱う単元を設けており、総合学習などとも連携して学びやすいのではないかと感じました。

○高須教育長

続いて学び方の工夫はいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社ともに各単元に見通しをもって主体的に学習するための流れやポイントが示されており、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するように工夫されていました。特に、教出と光村が工夫されているように感じました。

実際に教科書を見ていただくとわかりやすいと思いますので、教出3年180ページ、光村3年118ページを開いていただけますか。

○高須教育長

事務局、お願いできますか。

○中澤委員

教出は、その単元のはじめに何を学ぶのかが明確に文章で示されているのが特徴的です。経験の浅い授業者にも使いやすいのではないのでしょうか。

また、光村は、単元の終わりに学習の流れとその単元のポイントが示されているので、注目すべき点について色々な部分を見る必要がなく、生徒もわかりやすいと思いますし、授業者も授業がしやすいのではないのでしょうか。

○山口委員

各社とも多様な学習活動を効果的に行うことができるように言語活動の場面が設定されていました。教出では、具体例をもとに説明文を書く活動が設定されており、論理の展開や構成を考え、考えの形成・記述・推敲する活動が取り扱われています。

光村では、論説文で具体と抽象について学び、その後、根拠となる情報を集め、その知識を使って説得力のある構成を考え、スピーチを行う活動が取り扱われていました。

○高須教育長

補充的な学習・発展的な学習についてはいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも、巻末には、その学年で学んだことがまとめられており、学習した語彙や表現を振り返ることができるようになっていました。

○山口委員

各社ともにタブレットやパソコンなどのICT機器を活用して、二次元コードなどからデジタルコンテンツが見られるようになっており、動画などの資料や、学習のポイントがまとめられていました。

東書、三省堂、光村においては練習問題にも取り組めるようになっていました。

光村は、身につけた資質・能力を活用して問題に取り組むことができるように発展的な問題が用意されているなど、二次元コードが多く用意されていました。

○有山教育長職務代理者

二次元コードの数としては、三省堂が一番多く、次いで光村が多く取り扱っていました。デジタルコンテンツを使用して、生徒が自主的に学習し、補習することができるのは良いと感じました。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいと思います。

全体的にみて、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

学習指導要領において、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようになっていることが重視されています。

どの教科書も、単元の全体を見通し、何を学ぶかが明確になっています。ただ、より細かく学習の要点がまとめてあり、生徒の主体的な学びをサポートするという意味では教出と光村が特徴的で良いのではないのでしょうか。

○山口委員

教出もよいと思いますが、私は、光村が良いと思います。

先ほど有山教育長職務代理人からもありましたが、光村は、見開き1ページでその単元のポイントが示されており、さらに重要なところがハイライト表示されているなど、学習の要点がはっきりと示されているところが生徒にとっても授業者にとってもわかりやすいのではないのでしょうか。

○中澤委員

現在、寝屋川市が取り組んでいるディベートや、コミュニケーション力の向上において豊かな表現力の基礎となる語彙力を養うことは重要です。その点については、三省堂と光村の2社が特徴的に感じました。

三省堂は、資料編において語彙の広がりについてまとめてあり、光村においては、語彙ブックにおいてそれぞれの感情に対する描写や、批評の際に意見を述べる時にどのような言葉を使うかなど細かく状況に応じた言葉についてまとめられており、光村は、特に使用しやすいのではないかと思います。

○中川委員

先ほどもありましたが、光村では、二次元コードにおいて各学年に、教科書の問題と発展問題が取り組めるようになっており、生徒自身が資質・能力が身についたかを自分で確認できるようになっていました。

個別最適な学びという意味では光村がふさわしいのではないかと思います。

○有山教育長職務代理人

私も光村が良いと思います。

不確かな情報が多いなか、情報活用能力を養いながら、現代的な諸課題について、考えられる単元が設定されており、他者の考えを知り、自分の考えをさらに深める

工夫を感じました。

○高須教育長

各委員の意見を聞きますと、光村という声が多かったように思います。

国語の教科書は光村を採択するということで、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって国語は、光村図書を採択することに決めます。

次に、種目「書写」について、協議してまいりたいと思います。現行は東京書籍を使用しております。発行者は、全部で4社です。

御意見がありましたらお願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社とも、硬筆文字から学びをスタートさせ、毛筆に取り組み、毛筆での学びを硬筆に生かすという基本的な学習の流れをふまえて、構成されていました。

○有山教育長職務代理者

各社とも、硬筆の指導においては、鉛筆の持ち方を掲載しています。小学校の段階から持ち方が崩れて、字が雑にならないように指導していますが、あえて中学1年生でも取り上げ、もう一度きちんと指導できるように配慮されていました。

○山口委員

配慮という点では、教出では、A B版の大きな紙面にすることで、タイトル部分が手本の中に入り込まない構成になり、手本の半紙形のイメージを大切にしているように感じました。

○中澤委員

毛筆指導における手本等のレイアウトに関しては各社違いがあり、東書と三省堂では、左のページに、教出では、右のページに手本が示されており、基本的に見開きで完結するという点で指導がしやすいのではないかと思います。

光村では、見開きに教材の手本が示されていて、手本の前のページに学習の進め方が配置されています。

○高須教育長

学び方の工夫においては、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

各社とも、「楷書」については、基本の点画（てんかく）の書き方と筆使いを、朱書き等を用いて、わかりやすく示しています。

特に、東書と光村では、筆圧をオノマトペで表示するなど、習得しやすいように工夫されているのいいなと思います。

○中澤委員

「行書」については、各社とも、書くポイントが段階を経て、学べるよう工夫されています。

東書と教出は、身の回りの題材をより多く取り入れていて、文字への興味・関心を持てるように工夫されています。

○山口委員

各社とも「学習の進め方」や「学習の流れ」を提示することで、見通しをもって学ぶことができるようになっています。

また、個の学びから、伝え合う等の言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するように配慮されています。

○中澤委員

各社とも、文字にまつわる「コラム」等が掲載されていて、日常生活とのつながりを意識させるとともに、文字文化を継承していくことにつながるよう工夫されていました。

三省堂は「文字に関わる仕事」を取り上げており、キャリア教育の観点からも大切だと思いました。

○有山教育長職務代理者

東書と光村は、「常用漢字表」に加え、「人名用漢字表」が楷書と行書で示されていて、名前を書く際にも、行書を活用できるよう工夫されていました。

学習指導要領においては、日常的に生かすことができる書写の能力を育成することが求められていますので、とてもいい工夫だと思います。

○高須教育長

生徒の学びを広げるという観点については、いかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも、学ぶポイントを示しているのですが、東書は、「書写のかぎ」のキーワードを使って学習内容を自分の言葉で振り返られるような工夫が良いと思います。

○山口委員

また、各社とも、二次元コードが充実しており、個別最適な学び、授業と家庭学習との接続という点でも意識されていると感じました。

教科書全体のページ数については、光村が最も多く、豊富な内容を取り扱っていると思います。

○有山教育長職務代理者

学習指導要領にのっとった主体的・対話的で深い学びを意識して、複数の基本単元ごとに学習内容を振り返る「まとめ」のページと「書写テスト」を設け、生徒自身が客観的に自己評価し、より確かな学びになるよう工夫していると思います。

また、振り返りにも話し合いを指導内容に入れている点から、東書が良いと思います。

○中澤委員

学年ごとに学びを振り返ったり、学習したことを身の回りのどのような場面で生かせるかを話し合う言語活動に繋げたりしている工夫は、他社にはなく、生徒の学びを広げ、定着させていくという観点からみても、優れていると感じます。

○高須教育長

議論の結果、東書という御意見が多いようですので、書写の教科書は、東書を採択するという事で御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって書写は、東京書籍を採択することに決めます。

次に、種目「地理」について、協議してまいりたいと思います。現行は帝国書院を使用しております。発行者は、全部で4社です。

皆さん御覧になられてどうだったか、御意見をお願いいたします。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも写真、挿絵、図、表などの資料について見やすく、比較しやすいよう配置されていて、効果的に学習できる内容になっていると思います。

○有山教育長職務代理人

たしかに、どの教科書も実際にその土地に行って現地の生活や文化に触れてみたくなる見栄えだと思いました。

また、見やすいレイアウトを大切にしながらも、生徒の発達段階を考慮し、必要な分量がコンパクトに記述されていました。

○山口委員

分量が適当であっても、難しい言葉や語句が出てくると思考の流れが止まってしまいうこともあると思います。

しかし、各社とも側注や巻末に用語解説が設けられていて、生徒が思考しやすくなる構成になっていると思いました。

○中澤委員

思考の流れでいうと、各社ともに本文が中央、資料が周りという配置になっており、東書は「チェック」と「トライ」、教出と日文は「確認」と「表現」、帝国は「確認しよう」と「説明しよう」によって一時間の学習内容を確認し深められることができるように工夫されていました。

○高須教育長

なるほど。学習を進めていく上で、思考の流れも大切ですね。

各教科においても、SDGsに関連する内容が盛り込まれています。

この点については、地理ではいかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理者

どの教科書も巻頭等でSDGsについて取り上げ、主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追及したりしたくなる学習展開になるような工夫がされています。最初に、SDGsを学ぶ意義を丁寧に説明しているのは、良いと思いました。

○中澤委員

特に、帝国は「日本の諸地域」や各地方の「未来に向けて」において事例を掲載して関連付けているのがよかったと思いました。

また、他の3社も冒頭だけでなく、それぞれの地域の学習の中でも生徒が意識する場面がたくさんあると感じました。

○高須教育長

各社ともそれぞれ特色がありますね。

では、人権の取り扱いについて、御意見をいただきたいと思います。

はい、山口委員。

○山口委員

どの出版社も、文章、写真、挿絵、図、資料など人権尊重の視点に立って、配慮されています。

また、カラーユニバーサルデザインが採用されているとともにフォントやレイアウトなど配慮されています。

○有山教育長職務代理者

私もそう思いました。特に印象的だったのが、東書の巻頭にある「世界の食事を見てみよう」です。育ち盛りの中学生が、食べ物を通して様々な国の文化に興味を示し、その国に住む人や文化を尊重できると思いました。

○中澤委員

私も、ユニバーサルデザインへの配慮とともに世界の多様な文化の尊重の観点も大切だと思います。

東書では、「もっと知りたい」や「未来にアクセス」で地域の課題や文化について、教出では、「地理の窓」で民族や歴史的背景について、帝国では「未来に向けて」や「地理プラス」で諸地域の多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿について、日文では、「地理+α」で他国の尊重やさまざまな文化的背景を持つ人々の姿について紹介されていました。

○有山教育長職務代理者

人権尊重の観点でいうと、紛争と難民の発生について、各社とも2つ以上の単元で取り扱われていました。

○山口委員

4社ともそれぞれに紹介されている内容には特徴がありますね。

中でも、帝国では、先ほども出てきましたが、「未来に向けて」というコラムの中で、文化の共生を図る人々の姿が紹介されていて、「持続可能な社会の創り手」

として共生社会を作っていくイメージをもちやすいと思いました。

○高須教育長

他の観点について、何か御意見はありますでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

補充的・発展的な学習について、各社とも学習した用語を自分の言葉でチェックするコーナーが設けられており、学習した内容を確実に習得できるように工夫されています。

○有山教育長職務代理者

帝国の「地理プラス」、日文の「地理＋α」では、学習内容がより深く理解できるようなコラムが設けられていますし、東書の「もっと知りたい」や教出の「地理の窓」では、生徒の興味関心や見方・考え方を広げるコラムとなっています。

○高須教育長

生徒が学習に興味関心をもつことは大切だと思います。これまでの話の中でも、帝国の名前が多く出てきていたように思います。

皆さんの御意見を考えると、今回は帝国を採択することが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって地理は、帝国書院を採択することに決めます。

次に、種目「歴史」について、協議してまいりたいと思います。現行は東京書籍を使用しております。発行者は、全部で8社です。

それでは検討いたします。御意見をお願いいたします。

はい、中澤委員。

○中澤委員

まず、内容の程度については、各社とも、文章は生徒の発達段階を考慮し、それに応じた平易な表現で記述されており、歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりが丁寧に説明されています。

また、重要語句については、本文上では太字にされており、必要に応じて資料番号をつけ、同ページの本文外でその語句について補説されていますね。

○山口委員

そうですね。資料について、令書では、写真や挿絵、図、表などに発展的な資料も取り扱われていました。

○有山教育長職務代理者

年表という観点からみると、日文が最も年表が多く、時代の流れを把握させるよう意識していることが伺えます。

○中澤委員

組織・配列については、各社とも、世界の動きの中での日本をとらえられるよう、工夫されています。

その中でも東書、教出、帝国、山川、日文、育鵬社の6社では、本文がページの中央に記載され、資料はその周りというように配置されていますし、本文外やコラム等において、学習場面に応じた学び方が示されていますね。

○山口委員

各社で共通する点で言うと、社会的な事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されています。

また、人権尊重の観点においても、本文やコラムにおいて、例えば、国連平和維持活動などを紹介しながら、人権課題を取り上げ、配慮されていることが分かります。

○高須教育長

それでは他の観点でも考えていきたいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。
はい、中澤委員。

○中澤委員

学び方の工夫で言いますと、東書では、多様な意見に触れながら、対話的な活動を促す工夫がされており、話し合い活動を重視していることが分かります。

○山口委員

教出では、各章末の「学習のまとめと表現」では、ホップ・ステップ・ジャンプと観点ごとに身に付ける力を明示した問いが作られ、章全体を貫く「問い」に応答する活動をとおして、各章の学習をまとめられるよう配慮されていることがわかります。

また、自由社では、「時代の特徴を考える」で時代や人物などを比較する問題を設け、根拠を持って説明できるよう工夫されています。

○有山教育長職務代理人

帝国では、「タイムトラベル」としてイラストの内容を本文と関連させているのが、特徴的です。

また、見開き2ページ地図を多く扱っています。

○高須教育長

では、補充的な学習・発展的な学習という観点ではいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

多くの発行者が、二次元コードやインターネットを使って、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるようになっていました。

山川では、「詳しく見てみよう」という二次元コードから、教科書の資料だけでなく、ICT機器を通じて、鮮明な資料に触れられるように工夫されています。

○有山教育長職務代理人

日文では、クイズ形式やワークシートが豊富で、幅広い活用の在り方が工夫され

ていると感じました。

○中澤委員

東書では、クイズ形式だけでなく、思考ツールの活用などで、言語活動を充実させるよう工夫されていると感じました。

○山口委員

他の、教出、帝国、育鵬社でも、二次元コードが設定されており、歴史の学習に関連のあるウェブサイト簡単に接続できるようになっております。

○高須教育長

各社とも工夫があつて甲乙つけがたいですが、ここでも社間に絞って、議論できればと思うのですが、いかがでしょうか。

はい、中川委員。

○中川委員

皆さんの意見を聞く中で、各社とも、歴史的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されていますが、絞るとすると東書、日文、教出かと思います。

東書では、対話的な学びを通じて、課題解決する学習方法が多く見られ、工夫されている印象でした。

日文でも、「学び合い」などにおいて、多様な意見に触れながら学びが深まるよう工夫されていることが分かります。

教出では、「歴史の技」などにおいて、同様に、様々な意見に触れ、学びが深まるよう工夫されています。

○高須教育長

今、中川委員の方から東書、教出、日文の3社をあげていただきました。

皆さま、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、東書、教出、日文について、更に御意見がありましたら、お願いいたします。

はい、山口委員。

○山口委員

教出では、各単元の終わりに「学習のまとめと表現」で見開き2ページで年表が記載され、日本の動きと世界の動きが同時代の様子が良く分かるよう、工夫されています。

○有山教育長職務代理者

まとめで言えば、日文の巻末にある「『歴史との対話』を未来に活かす」という特設ページも特徴的だと考えます。

災害、政治参加、世界平和の3つの課題例を紹介し、持続可能な開発目標（SDG

s)の実現に向けて、自分の考えを持つことができるようにしています。これは、そうした課題に対して、主体的に関わる姿勢につながると思いました。

また、この特設ページでは、索引の活用を促しており、重要な歴史用語がすぐ調べられるという特徴があります。

○中澤委員

東書は、索引に掲載されている歴史的事項の数が一番多いです。

また、「みんなでチャレンジ」などにおいて、個人活動とグループ活動を通じて、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題解決を図るよう工夫されています。

まとめでは、それぞれの問いに対して、調べた内容や対話した内容をシンキングツール等で整理できるよう工夫されています。これは、一目で学習のふり返しを行えるような工夫であり、主体的・対話的で深い学びにつながると感じました。

○中川委員

各委員の意見を聞いて、主体的に深く学習したことを様々なシンキングツール等で振り返り、整理できることは、大事だと思いましたので、東書がよいのではないかと感じました。

○高須教育長

皆さんの意見を集約すると、東書がいいというお声が多いようです。

それでは、今回は、東書を採択するということで、御異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって歴史は、東京書籍を採択することに決めます。

次に、種目「公民」について、協議してまいりたいと思います。現行は日本文教出版を使用しております。発行者は、全部で6社です。

それでは、検討に入りたいと思います。

皆さんの御意見をお聞きします。

はい、中澤委員。

○中澤委員

内容の程度に関しては、各社とも、生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっており、写真や挿絵等の資料についても、本文の内容に関連付けられたもので、生徒の発達段階を考慮した内容になっていました。

○有山教育長職務代理者

組織・配列に関しては、各社とも現代社会を導入に、私たちと政治、私たちと経済、私たちと国際社会の諸課題の順で学ぶよう配列されていました。

さらに、各章の導入の活動で示された課題に基づいて学習を進められるようになっていました。

日文では、各章の導入見開き2ページが、大きなイラストと吹き出しを使用した

物語仕立てになっていることが特徴的でした。

○山口委員

自由社では、章を通じた問いから課題をつかんで学習を進められるようになっていました。

○中澤委員

人権に関しては、各社とも、人権尊重の観点から、文章や写真等が適切に取り扱われていました。また、社会の変化に対応した新たな視点として、環境権やプライバシー権について取り上げられていました。

帝国では、表紙の写真にジェンダーレスの制服を取り上げ、平等権の学習における本文中の資料としても使用していました。

○高須教育長

学び方の工夫や補充的な学習、発展的な学習については、いかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社とも、地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を活用するとともに、現代社会の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されていました。

○中澤委員

補充的な学習・発展的な学習については、各社とも、学習した内容をふりかえり、確かめられるような工夫がされていました。

○山口委員

日文では、「まとめとふり返し」でスモールステップの問いが設定されており、学習内容を確実に習得できるようになっていました。

○高須教育長

個別最適な学びにつながる工夫ですね。

それでは、協働的な学びの点については、いかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

教出では、「LOOK」や「学習課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、生徒が主体的に思考を働かせられる工夫がされていました。

○有山教育長職務代理者

東書では「みんなでチャレンジ」というコーナーが設けられ、協働的な学びをとおして様々な考えに触れられるようになっていました。

○山口委員

帝国も「アクティブ公民AL」のコーナーで、他者との対話や意見交換をとおして協働的な学びができるような課題設定がされていました。

また、育鵬社では、「人生をデザインしよう」でライフイベントをシュミレーシ

ョンする活動をとおして、立場や根拠を明確にして議論できるようになっていました。

○高須教育長

他の観点では、いかがでしょうか。

はい、中川委員。

○中川委員

社会との関連でいうと、選挙年齢の引き下げに関する扱いも、重要だと思います。

その点で言うと、東書では「18歳へのステップ」、帝国では「18歳への準備」というコーナーがあり、選挙年齢引き下げを意識した学習内容が設定されているように思います。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいと思います。

皆さんの話を聞いていると、東書、帝国、日文の評価が高いように思うのですが、この3社に絞って、進めてもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

それでは、3社に関して、御意見をお願いします。

はい、中澤委員。

○中澤委員

3社とも、まとめのページなどで、学習した用語を自分の言葉で説明させる機会を設け、学習内容を習得できるよう、工夫されていました。

また、東書と帝国では、情報化の学習で「メタバース」を取り上げ、生徒の生活実態に沿った学習が展開できるようになっていました。

○有山教育長職務代理者

二次元コードの活用については、各社とも、情報量が豊富で、家庭学習を含め、活用の幅が広がると思いました。

特に、東書と日文は、ワークシートや解説動画が充実しており、操作性においても生徒の発達段階を考慮した仕様になっているように思います。

○中川委員

人権の取り扱いについてですが、発展する科学技術に関する、人権の取り扱いも大事な観点だと思います。

帝国と日文では、人工知能と人権保障についてとりあげ、新しい人権課題について生徒たちが考えられるように配慮されていました。

さらに、日文では、バリアフリー社会の実現のための事例として、堺市の公共施設の、点字ブロックやヒアリングヘルプマークの事例が取り上げられていました。寝屋川の子どもたちにとって、同じ大阪府内の事例だと、身近に感じ、興味を持って学習できると思います。

また、実際に、教科書で点字にふれられるようになっている点も良かったです。

○高須教育長

これまでの皆さんのお話を伺っていると、日文の名前が多く挙がっていたように思います。

公民は日文が適しているということで、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって公民は、日本文教出版を採択することに決めます。

次に、種目「地図」について、協議してまいりたいと思います。現行は、帝国書院を使用しております。発行者は、全部で2社です。

御意見がありましたら、お願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社それぞれが、創意・工夫のある教科書を作成しています。観点別にいきますと、まず内容の程度について、2社とも、世界地図においては6つの州において、縮尺を変えて表されていました。日本地図においては、すべての都道府県の地図上に、産業、交通、環境、文化・歴史等、各分野の学習内容の情報が豊富に取り上げられていました。どちらも、生徒の発達段階を考慮した内容になっていました。

○山口委員

私も各分野の学習内容の情報が豊富だと思いました。例えば、東書は、地形や河川に特化した地図から、地形と水系から歴史を読み解く資料が特徴的でした。

○有山教育長職務代理者

社会科だけでなく、2社とも理科の学習に活用できる自然環境、自然災害に関する資料ページがありました。

帝国は、自然災害を扱うページで、衛星画像や台風の仕組みをイラストで示しており、学習を効果的に進められるように配慮されていました。

○高須教育長

人権の取扱いについてはいかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

2社ともに、人権尊重の観点から、基本となる地図、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取り上げられています。

また、2社ともSDGsの観点に基づいた資料が豊富に掲載されています。

○中澤委員

2社ともに、すべての生徒にとって使いやすいように、ユニバーサルデザインに対応したフォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などが配慮されています。

○有山教育長職務代理者

東書は、全体的に色合いが薄く、優しい感じがします。

帝国は、陸の高低差がハッキリとわかる色合いになっており、立体的に捉えやすいと思いました。

○高須教育長

学び方の工夫ではいかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

2社とも、地図上に問いがあり、地図や資料を読み取ったり、複数の図を比較検討したり、発展的な課題を考えたり、基礎的な内容から発展的な内容までさまざまなレベルで構成されていました。

生徒が興味・関心をもちそうな問いとなっているので、活用することで、主体的に学習に取り組めるのではないかと思います。

○中澤委員

2社とも、二次元コードからつながるデジタルコンテンツも充実していました。

東書は、デジタル地球儀があり、宇宙からの目線で地球の様子を見ることができ、生徒の興味・関心につながると思いました。

○高須教育長

では、補充的な学習・発展的な学習という観点ではいかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

2社とも、社会科の学習内容と関連付けながら、補充・発展的な学習において活用できるよう配慮されています。

○有山教育長職務代理者

学び方の工夫と重なるところもあるのですが、帝国の問いである「地図で発見！」は地図をもとに確認し、学びを深めていく問いとなっており、問いが明確で資料活用能力や思考力を働かせ、多面的・多角的に考えられるように工夫されていると思いました。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。

東書と帝国、それぞれに良いところがありますが、皆さん、いかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

全体的なバランスを考えると、様々な内容が豊富に紹介されている帝国が良いと思います。

○山口委員

東書も良いと思いますが、やはり、帝国は地図が見やすく、必要な情報をわかりやすく伝えていると思います。

○有山教育長職務代理者

私も、他教科と関連した学習がしやすいのではないかと思いますので、帝国を推薦します。

○高須教育長

それでは、地図の教科書は、帝国を採択するという事で、御異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって地図は、帝国書院を採択することに決めます。

次に、種目「数学」について、協議してまいりたいと思います。現行は啓林館を使用しております。発行者は、全部で7社です。

御意見をお願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社とも写真、挿絵、図、表などの資料や文章の記述や分量について、発達段階を考慮したものになっており、具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切に取り扱われています。図やグラフをかく問題で、図やグラフが書き込みやすいよう配慮されているところが印象的でした。

○高須教育長

グラフを作成する関数の単元に、つまずきを感じる生徒には、取り組みやすくなる工夫ですね。

身近な生活の中で数学的な疑問に直結するような設問があれば、取り組みやすいと思うのですが。この辺りはいかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

身近な生活の中で出てくる疑問を扱う設問に関しては、各社とも、単元の導入部分で身近な生活の中で出てくる疑問を扱っており、問題解決的に取り組んでいく構成になっています。

学図、教出、数研、日文の4社は、各単元前に、既習事項を確認するページが設定されているため、既習事項と単元との繋がりが、わかりやすくなっています。日常生活や既習事項とのつながりがわかると、数学を学ぶよさなども感じる事ができ、興味・関心が高まっていくと感じます。

○中澤委員

問題解決的に取り組んでいく構成の詳細なのですが、各社とも、問題発見・問題解決の流れを提示し、自分や周りの考えをまとめ、問題解決できるようになっています。

また、生徒が数学的な表現力を養い、問題解決の過程を振り返ることができるように吹き出しでの問いかけやアドバイスがされており、大日本では、他教科に関連した内容について取り上げている項目、啓林館では、日常生活に活用する場面につ

いて取り上げている項目が数多く設けられています。

○高須教育長

なるほど、各社とも工夫されているわけですね。

では、人権の取扱いや補充的な学習・発展的な学習という点については、いかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

人権の取扱いに関しては各社とも、文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されています。

例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されており、ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての生徒にとって扱いやすいよう配慮されています。

○有山教育長職務代理者

デジタルコンテンツに関しては、学習に役立つ情報、動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツや資料などを見ることができ、各学年、図形の項目では、視覚的に理解できるよう、拡大や、回転等工夫がなされています。

数研のデジタルコンテンツは練習問題データベースであるスタディエイドと連携しています。

なお、東書、学図、啓林館では、SDGsとのつながりが明示されている箇所が多く設けられていました。

本市のディベート学習でもSDGsについての論題を取り上げ議論しているので、馴染みやすいかと思います。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいと思います。

皆さんの話を聞いていると、数研、啓林館の評価が高いように思うのですが、この2社に絞って進めてもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

それでは、2社について御意見をお願いいたします。

はい、山口委員。

○山口委員

数学は、特に小学校の算数から学びを含めた積み重ねが重要になる教科だと思いますが、両社とも、振り返りが必要な場面では、既習事項が確認できるように工夫されていました。

私は、数研が、デジタルコンテンツの「Link 補充」という項目で学習レベルに応じたレベル分けがされており、類似問題で単元の補充や復習ができ、個別最適な学びの充実に繋がるかと思います。

○中澤委員

啓林館のデジタルコンテンツに関しては「数学ライブラリー」という項目でデジタルコンテンツが配置されており、何故この公式になるのか、計算を簡単にできるのは何故なのかという生徒が公式や問題を解く際に疑問に思う事項をデジタルコンテンツで解説をしています。

このデジタルコンテンツがあることで、公式を単に暗記するだけではなく、公式や計算の簡略化の根底を理解する事に繋がり、深い学びに繋がるかと思います。

○有山教育長職務代理人

小学校の算数との繋がりや学びを振り返る項目について具体的にお示ししたいのですが、よろしいでしょうか。

○高須教育長

結構です。どの教科書でしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

啓林館 1 年251ページの「学びをふりかえろう」と数研 1 年11ページの「ふりかえり」です。

○高須教育長

事務局、お願いします。

○有山教育長職務代理人

啓林館と数研の正負の計算の単位に関してのページを見ていただいておりますが、啓林館の方は 2 ページにわたって、丁寧に紙面が作られています。

復習問題について、啓林館は紙面、数研はデジタルコンテンツで準備されています。啓林館にもデジタルコンテンツが準備されており、内容は紙面の設問、解説、解答、そして解き方の動画も準備しています。

○山口委員

確かに、解説だけでも丁寧ですが、動画での解説があるのは、わかりやすく丁寧ですね。

○中澤委員

啓林館は小学校との繋がりだけではなく、高校との繋がり意識した設問を設けています。

再度、具体的にお示ししたいのですが、よろしいでしょうか。

○高須教育長

結構です。

○中澤委員

啓林館 3 年244ページです。

○高須教育長

事務局、お願いいたします。

○中澤委員

中学校で学習した内容が高校で、どのような学習に繋がるのかを示しています。
244ページは、背理法（はいりほう）、そのあと254ページは、三角形の五心（ごしん）、258ページは、接弦定理（せつげんていり）。このように高校の学習への繋がりを示しています。

○山口委員

確かに、中学の学習が高校で、どう結びつくのか理解できれば、高校の授業への不安は少し解消されますね。

発展的な問題としても扱えるので生徒の興味・関心が高まっていきますね。

○中澤委員

数研もよく工夫された教科書だと思いますが、解説の丁寧さや高校を意識した項目があるので啓林館が良いと思います。

○有山教育長職務代理者

私も、啓林館が良いように思います。解説の丁寧さや、生徒が少し疑問に思う項目に対してのアプローチが良いと思います。

○中川委員

たしかに、皆さんのご意見をうかがっていますと、啓林館も良いと感じました。

両社とも、小学校とのつながりに配慮されていますが、特に、学習における取り扱いが丁寧であることや、子どもたちが、少しの疑問について学ぶことができるような工夫がなされている点において、啓林館が適しているように思います。

○高須教育長

今までの意見からしますと、啓林館が適しているという声が多いように思います。

数学の教科書は、啓林館ということでいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって数学は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「理科」について、協議してまいりたいと思います。現行は啓林館を使用しております。発行者は、全部で5社です。

御意見はございますか。

はい、山口委員。

○中川委員

各社とも、人権、自然環境への配慮、防災・安全への配慮について、適切に取扱われていました。

○中澤委員

安全への配慮については、各社ともに注意を促すマークや赤文字で示す工夫をするなど、適切に扱われています。

例えば、東書と啓林館は、怪我ややけどの危険を示すマークなどで、具体的に注

意すべき行動について示し、危険を回避できるよう配慮されていました。

○有山教育長職務代理人

環境保全や防災についても、各社ともにコラム等で取り上げるなどの取扱いがされておりました。

○高須教育長

それでは、教科書の内容の程度や組織・配列についてはどうでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社、重要な語句については、本文中で太字にする工夫をしていますね。

特に教出は太赤字にして強調しています。

○中澤委員

東書、大日本、教出、啓林館の4社については、単元末に重要語句をまとめており、生徒たちにとっては、学習をする際にわかりやすく活用しやすい配慮となっていました。

○有山教育長職務代理人

各社、他教科との関連について組織・配列されており、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう工夫がなされています。

○山口委員

各社、巻頭にそれぞれ問題解決までの過程を示しています。探究的な学習を進めるうえで、問題を主体的に見つけ、予想を元に実験や観察を行い、結果をまとめ、考察するという過程や学習の進め方を最初に示しているところが、問題解決に必要な力を養うための配慮がされていると感じました。

○中川委員

各社、問題解決までの過程を7～10段階に分けて、各単元を構成しています。

その中でも特に東書では、巻頭に問題解決までの過程を示すことに加え、探究の流れを見開きの左下に示していて、わかりやすいです。

○有山教育長職務代理人

生徒たちにとって、自分が現在どの過程にいるのかわかりやすい工夫ですね。

○中澤委員

問題解決までの過程において、各社、対話的な活動を取り入れています。その中でも特に学図では、毎時間、先生や生徒のキャラクターが考え方のヒントを出しており、話し合いを促すなどの工夫をしています。

○高須教育長

ほかに御意見はございませんか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社ともに探究的な学習を進められるように工夫がされていますが、啓林館では

各学年の巻末に探Qシートという冊子がついています。実際に開いて見ていただいてもよろしいでしょうか。

○高須教育長

事務局、お願いいたします。

山口委員、続けてお願いいたします。

○山口委員

自分の考えを書き込むシートとして用いることができ、自分たちの探究の過程を書き込むことで、探究の流れをつかむことができるのではないのでしょうか。

○中澤委員

最初の探究実習が15ページに示されているのですが、探究の流れを学年の序盤に、この冊子を使って丁寧に扱うことで、その後の学習の進め方の見本とすることができますね。

○有山教育長職務代理者

確かに、その次の16ページには実習の例が示されており、中学校に入って間もない1年生や、理科を苦手とする生徒にとっては、手助けとなるのではないのでしょうか。

○高須教育長

その他、各社において、創意・工夫をされているポイントはありますか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

ウェブサイトで学習に役立つ情報を見ることができるよう、各社取り扱っているのですが、教出は二次元コードがページ番号横に統一されています。

その他の会社については、各ページに配置されている二次元コードを読み込むことで閲覧できるようになっています。

○山口委員

一人ひとりのニーズや学習形態に応じて、学習内容に関連する箇所には二次元コードが配置されているので、紙の教科書との併用によって学力の向上につながるのではないのでしょうか。

○有山教育長職務代理者

特に理科では実験の動画や器具の扱い方を見ることができるので、生徒が休んだ場合には動画で補習を行うことができ、非常に効果的だと思います。

○高須教育長

なるほど。

そろそろ、まとめていきたいと思いますが、ほかに御意見はございませんか。

はい、山口委員。

○山口委員

私は、探究的な学習だけでなく、文字の分量と資料とのバランスがとれているのは啓林館ではないかと思います。生徒が理解しやすいように、視覚的に必要な箇所

には資料を用いてフォローされていると感じます。

○有山教育長職務代理人

確かに、資料は豊富に使いながらも、文字数とのバランスをとりながら、生徒が読みやすいよう配慮されていることがわかります。

○高須教育長

様々な意見が出てまいりましたが、そろそろ結論を出したいと思います。これまでの話の中でも、啓林館の名前が多く出てきていたように思いますが、いかがでしょうか。

はい、中川委員。

○中川委員

各社ともに特徴的な部分があると思いますが、今までの話を総合して考えると、理科は啓林館が適当ではないかと思います。

○中澤委員

たしかに、啓林館はバランスよく作られていると思います。

○高須教育長

それでは、理科の教科書は、啓林館を採択するということで、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって理科は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「音楽一般」について、協議してまいりたいと思います。現行では教育芸術社を使用しております。発行者は、全部で2社です。

委員の皆さんから、御意見をお願いします。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

表紙をめくって、すぐの扉ページでは、両社とも、見開きで、音楽に関わる著名人からのメッセージを掲載しており、音楽が人生に与えてくれた影響など、音楽の良さが伝わる内容になっており、生徒が音楽の授業で主体的に関わることができるよう配慮されていると思いました。

○中澤委員

どちらも、生徒の発達段階を考慮した内容となっていて、無理なく学習が進められると思います。歌唱については、教芸では、変声期についても取り上げられており、声を出しづらくなる男子生徒に配慮されていると思いました。

創作についても、段階を追って創作できるような内容になっており、どちらもワークシートに考えをまとめ、発表したり交流したりすることで、協働的な活動が展開できるように工夫されています。

鑑賞については、二次元コードから演奏を聴くことができ、学習の際に参考にす

ることができると思いました。

○高須教育長

〔共通事項〕の取扱いについては、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

〔共通事項〕の用語や記号などについても、両社とも、教材見開きのページに大きく示してありました。教出では、主に右ページ下部に楽典が示されており、教芸では、主に右ページ上部に同じく楽典が示されていましたが、主に左ページ下部には「音楽を形づくっている要素」も示されていました。

また、どちらも巻末には、一覧できるページも準備されていました。教出では、折り込みページの見開きにまとめられており、学んだ内容を、いつでも振り返りができるようになっているところが良いと思いました。

○山口委員

そうですね。また、両社とも、単元名や学習のめあて、活動のポイントについても、背景色を変えながら、題材名の近くに表示していることにより、歌唱、創作、鑑賞のどの内容を学習するのかが、わかりやすいと思いました。

○中澤委員

私も見ていて、生徒にも教員にとってもわかりやすい工夫だと思いました。

また、教出では「比べてみよう」や「Active」を活用して、他の楽曲と比較しながら、多面的多角的な学習をねらい、協働的な学びとなることが期待されていると思いました。

そして、教芸の「学びのコンパス」では、学習者自身の考えなどを言語化し、他者との交流をとおして、協働的な学習となるよう工夫されていました。

○有山教育長職務代理者

少し、創作活動ページを見ていただけますか。教出1年の38ページ、教芸1年の20ページです。

○高須教育長

事務局、お願いします。

○有山教育長職務代理者

先程、中澤委員がおっしゃった創作の領域ですが、教芸では、20ページのマイメモディーというページで、ゲーム形式でリズムを作成し、そのリズムを用いて、意見交換をするなど、学習を進めていきます。

学習の手順が詳しく示されており、キャラクターのコメントなどを参考に、協働的な学びとなるよう工夫されていると思いました。

○山口委員

また、教芸は、創作ツールとして、タブレット端末を活用して創作することでもできることから、生徒個人が主体的に学習できることが良いと思いました。

○中澤委員

教出は、この1年生の38ページで、日本語の抑揚を生かした旋律をつくり、2・3年生下では、CMソングを作ろうという課題になります。

段階的な学びというところで、生徒が楽しんで取り組めるよう工夫されていると思いました。

○中川委員

確かに、教出は、主に言葉の特徴を捉えて旋律を作ったり音楽を構成したりする内容となっていて、学習の手順やワークシートの色分けも分かりやすく、活動が進めやすいように配慮されていると思いました。しかし、生徒主体の学習の深まりを考えると、教芸もいいですね。

教芸は、他にも、二次元コードによる音源など、多数掲載されており、生徒が家庭でも学習に取り組めると思いました。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいと思います。

今までの意見からすると、教芸が適しているという声が多いと感じますが、いかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

生徒が他者と協働的な学習を意識できるというところで、私も教芸の方がいいと思いました。

○高須教育長

それでは、音楽一般の教科書は、教芸を採択するということでご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって音楽一般は、教育芸術社を採択することに決めます。

それでは、種目「音楽器楽」について、協議してまいりたいと思います。現行は教育芸術社を使用しております。発行者は、全部で2社です。

御意見をお願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

両社とも、生徒の実態に合わせて、基礎的な技能が習得できるよう、どの楽器においても写真や説明文を多数使用することなど、説明が詳細にかかれており、きめ細やかな配慮がなされていることで、段階を追って学習を進められるようになっていました。

○中澤委員

教芸では、学習する楽器の始めに鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽一般の教科書と関連付けて学習できるように配慮されています。

○有山教育長職務代理者

教出では、鑑賞教材で取り扱った教材が練習曲として掲載されており、学習する楽器や音楽一般の教科書と関連付けることで身近に感じ、興味を持って取り組むことができるように工夫されています。

○高須教育長

両社とも、生徒が興味を持ち、段階を追って学習ができるようになっているという事ですね。

では、その段階を追った学習を進める上での両社の工夫については、いかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

両社とも、背景色を楽器ごとに統一しており、どの楽器を学習しているのか、わかりやすくなっていると感じました。

○中澤委員

わたしは、リコーダーのページの端に運指が掲載されていることで、生徒が運指を確認しながら、安心して学べるようになっていて良いと思いました。

○有山教育長職務代理者

教芸では、柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方で、学習内容をまとめた「学びの地図」で各教材においては、題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されていて、細かい配慮がなされていますね。

○山口委員

教出では、学習指導要領の各学年の目標や内容に応じた題材が各楽器見開きで示されて学習がスタートし、教材ごとに焦点化された学習のめあてで学力の定着を図り、習得した学力を生かして表現する「まとめの曲」で学習評価ができるような系統性と発展性を持って組織しているところが工夫されていました。

○高須教育長

両社とも、生徒が段階的な学習ができるようになっているという事ですね。

では、生徒が主体的に学ぶという観点から見た工夫についてはいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

両社とも、WEBコンテンツがたくさん掲載されていて様々な楽器に動画があり、映像と音源により生徒にとって音楽が身近なものになっていますね。

○有山教育長職務代理者

教芸では、リコーダーやアンサンブルの伴奏の音源が充実していて、個人のペース

で練習したり、家庭学習でも取り組んだりすることができ、個別最適な学びに役立つところが良いと思いました。

○山口委員

教出では、個人やグループで創意工夫しながら表現できるよう、協働的に学ぶ時間が配慮されている作りになっていると思いました。

○中川委員

両社ともに巻末に「リコーダーの運指表」や「ギターとキーボードのコード表」「音楽用語や記号」がまとめられており、生徒が主体的に学びを進め、学習した内容を確実に習得できるための手立てが充実していますね。

教芸では、「リコーダーで高い音を鳴らすコツ」など、たくさんの器楽を演奏する上でのコツが掲載されているので、生徒が必要に応じて、それをヒントに学ぶことができ良いと思いました。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいと思います。

これまでの各委員の話を総合すると、教芸を評価する声の方が多かったように思います。教芸が、より本市の実態に合うのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって音楽器楽は、教育芸術社を採択することに決めます。

次に、種目「美術」について、協議してまいりたいと思います。現行は、光村図書を使用しております。発行者は、全部で3社です。

何か御意見はございませんか。

はい、中川委員。

○中川委員

各社とも、たくさんの作品が色鮮やかに掲載されており、見ているだけでも楽しい教科書となっていました。また、作品と併せて「作者のことば」が掲載されることで、作品から感じた思いや考えから造形的な見方・考え方へとつなげられるよう工夫されていました。

○中澤委員

学習指導要領では、表現したり鑑賞したりする資質・能力を相互に関連させながら育成することが重視されていますので、とてもよいですね。

どの会社も、鑑賞と表現を関連させた紙面構成となっていました。開隆堂では、各題材4ページ構成で、表現や鑑賞を関連付けた流れがわかりやすいと思いました。

○山口委員

日文では「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」の流れで構成がさ

れていて、どちらも鑑賞と表現の関連を重視しており、授業の中で、生徒が鑑賞と表現を相互に関連付けながら学びを進めることができると思いました。

○中澤委員

各社とも紙面の構成が工夫されていますね。開隆堂では2・3年のはじめのページに漫画家 荒木 飛呂彦（あらき ひろひこ）さんの「ジョジョの奇妙な冒険」が見開きで掲載されており、生徒が美術の世界へ引き込まれるよう工夫されていると感じました。

○有山教育長職務代理者

たしかに、教科書が生徒の身近な美術から始まっているのはよいですね。

光村では、1年のはじめのページ、2・3年の最後のページに「うつくしい」というキーワードとともに谷川俊太郎さんの文が掲載されていました。3年間の美術の学びが生徒自身とつながるよう工夫されていて、いいなと思いました。

○山口委員

学びの振り返りという視点では、各社とも3年間で学んだことを社会や世界と関連付けて考えることができるよう工夫されていました。

開隆堂では「美術と私と社会」、日文では「社会に生きる美術の力」において、多方面で活躍している人が、それぞれの人生の中で美術の学びが生かされていることを、紹介しており、生徒にとっても、わかりやすいと思いました。

○高須教育長

なるほど、各社とも様々に工夫されているのですね。人権尊重の観点からはいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社、文章、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われていました。

また、各社ともピカソの「ゲルニカ」について大きく取り上げていました。

○有山教育長職務代理者

光村では、当時の街の様子や製作中のピカソの写真とともに、「ゲルニカ」が見開き4ページで特に大きく取り上げられており、生徒が心を揺さぶられるようなレイアウトだと思いました。

○山口委員

たしかに、文字や説明もほとんどなく、全面に掲載されて迫力があると思います。

光村では「ゲルニカ」の他にも、同様のレイアウトの作品がいくつかあり、いいなと思いました。

○高須教育長

各委員から、様々な意見をいただきました。

他にはいかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

各社、教科書の構成が工夫されています。開隆堂は1年と、2・3年の2冊、日文は1年と、2・3年上、下の3冊、光村は1年と、2・3年と、美術資料の3冊となっており、資料が別冊で構成されている光村は、現場の先生も使いやすいのではないかと思います。

○高須教育長

では、生徒の安全確保や事故防止の観点からはいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも、用具の取り扱いについて具体的に示されていました。

また、光村と日文では安全指導に留意すべきことは「注意マーク」とともにポイントが掲載されており、配慮されていると思います。

○高須教育長

各委員より、ご意見をいただきましたが、これまでの話を振り返ると、光村が適しているとの声が多かったように思いますが、いかがでしょうか。

はい、中川委員。

○中川委員

そうですね。光村は、作品の写真の掲載方法など、生徒がワクワクしながら学べるのではないかと思います。

○中澤委員

私も光村が良いと思います。

○高須教育長

それでは、美術の教科書は、光村を採択するということで御異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって美術は、光村図書を採択することに決めます。

次に、種目「保健体育」について、協議してまいりたいと思います。現行では東京書籍を使用しております。発行者は、全部で4社です。

御意見をお願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

東書は、「Dマーク」というデジタルコンテンツに動画などが準備されており、二次元コードに章末問題なども用意されています。

また、大修館では各章ごとに章のまとめ問題が用意されており学習の内容の振り返りができるようになっています。

○中澤委員

大日本は章末に重要な言葉の解説が設けられ、学習を自分で、確認することができ

るようになっていきます。

また、各単元にもキーワードが用意されています。各社ともに関連する動画や資料を視聴することができ、学研では二次元コードが外部のサイトとリンクしており、より詳しく知ることができるようになっていきます。

○山口委員

組織・配列については各社とも学年ごとに編集がされています。東書のみ、保健編の後に体育編があり他の3社は、体育編の後に、保健編となっています。

学習指導要領における保健分野の方が、体育理論の時間数よりも多いことが関係しているのではないかと推察されます。

○高須教育長

次に、観点を変えて、人権の取り扱いはいかがでしょう。

はい、山口委員。

○山口委員

スポーツを通じて各社とも、多様な人々を結びつけていることについて伝えられており、オリンピックやパラリンピックの内容も取り上げられています。

○中澤委員

それ以外にも、学研や東書では、性の多様性について記載があり、多様な性の在り方を学ぶことができる場所が良いですね。

○高須教育長

そうですね。人権の取り扱いでは、各社とも配慮されて、特徴がありますね。

その他には、いかがでしょう。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

各社とも1単位時間を見開き2ページで学習することを基本としていますが、本文などの配置に特色があります。

大修館と東書は、本文を見開き中央に寄せ、両端に資料を配置しています。また、大日本と学研は本文をページ左側に配置し、資料は右側にしています。

○高須教育長

なるほど。各社とも特色がありますね。他に御意見はございませんか。

はい、山口委員。

○山口委員

補充的・発展的な学習としては、各社ともにまとめのページがありますが東書と大修館が良いように思います。東書の177ページと大修館の186ページを見ていただきたいのですが。

○高須教育長

事務局お願いできますか。

○山口委員

東書では、「巻末スキルブック」、大修館でも、「用語解説」として、巻末に重要な言葉の解説が設けられています。生徒が、学習の振り返りを行いやすいように工夫されているように思います。

○中澤委員

私もその点は注目をしていました。

その他にも、学研、大修館、東書には、章末資料や章のまとめなどのページがあり、習得状況の確認や整理ができるようになっています。

○山口委員

私は、教科横断的な指導ができるように、他教科との関連があることが良いと思います。

その点で、東書では、「他教科」マークを多く取り扱っており、他の教科とつながりを持って学習できる点がすばらしいと思いました。

○高須教育長

では、そろそろまとめていきたいと思います。

みなさん、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

私は、すべてにおいてバランスが取れていて、他教科とのつながりを多く持つことができる東書がいいと思います。

○中澤委員

私も総合的にみて、より振り返りをできる東書がいいと思います。

○山口委員

私もそう思います。

○高須教育長

東書という意見がたくさん出ていますが、保健体育の教科書は、東書を採択するということで、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって保健体育は、東京書籍を採択することに決めます。

それでは、種目「技術」について、協議してまいりたいと思います。現行では、東書を使用しております。発行者は、全部で3社です。

御意見がありましたら、お願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社ともに、ものづくりの大切さや、技術が生活や社会を支えていることを、写真やイラストを多く用いながら、適切に取り上げられています。

○山口委員

技術の見方・考え方を働かせた、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動について、各社ともに十分に引き上げられていることが見受けられます。

○有山教育長職務代理者

「学習のまとめ」では、各社とも学習の内容を振り返るとともに、技術によって解決した過程を振り返ることで、より多くの事柄に興味関心を持ち、学びが深まるような工夫がされています。

○山口委員

各社とも、他教科や小学校での学習と関連している箇所はマーク等で示されています。

その中でも東書では、ページ下部の「技術の工夫」、開隆堂では、ページ下部に「豆知識」が掲載されており、用語解説や技術の工夫が紹介されていて、生徒の学習の補助となっています。

○高須教育長

続いて、内容については、いかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも人権への配慮について、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われており、福祉に関わる技術の役割が学習内容として紹介されています。また、巻頭に特設ページが設けられており、作業を安全に進めるための注意点が示されています。実習における安全のポイントには、マークをつけて事故防止に留意するよう配慮されています。

○有山教育長職務代理者

情報モラル・知的財産権の取り扱いでは、開隆堂が多く取り扱われており、情報モラルの重要性が、生徒に伝わるように取り扱われているところが良いと思いました。

○山口委員

教図では、別冊のハンドブックの『スキルアシスト』があり、加工法の確認や実習中に作業を確認できるようになっています。また、本文上の重要語句について、太字にするだけでなく、色も変えて示しています。生徒にとっては学習の中で、しっかり意識できるのではないのでしょうか。

○有山教育長職務代理者

技術によって生活や社会の問題を解決する力を身につけることができるような工夫が各社ともありますが、その中でも東書が考えたり、調べたり、話し合ったりする学習活動例を一番多く提示しています。

○高須教育長

各社とも、様々な工夫が感じられますね。

ほかに御意見ございますか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社とも、動画や資料、ワークシート等の学習に取り組む際に活用できるデジタルコンテンツが多数設定されており、個別最適な学びと協働的な学びに活用することができるようになっています。その中で、東書が一番多く二次元コードが記載されています。たくさんの動画が、実習の手順が分かりやすく示されていることがとても良いと思いました。

○中澤委員

各社技術者の言葉が掲載されており、東書では、「技術の匠」、教図では、「技(わざ)ビット」のコラム、開隆堂では「インタビュー」形式で技術者の思いやメッセージを紹介しています。開隆堂のインタビューはより、技術者目線で良いと思いました。

○有山教育長職務代理者

東書では、学習した内容に関して、補充的・発展的な内容が充実しておりまた各編において、主体的で対話的な学習活動を促している場面が多く設定されているところが、深い学びに発展していくと思いました。

○高須教育長

そろそろまとめていきたいのですが、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

各社とも、様々な工夫がありましたが、総合的に考えますと、東書が活用しやすい教科書だと考えます。

○中澤委員

私も、生徒が理解しやすく、興味・関心等に応じた内容がバランスよく記述されている東書が良いと考えます。

○山口委員

私もそう思います。

○高須教育長

それでは、技術の教科書は東書を採択するということで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって技術は、東京書籍を採択することに決めます。

それでは、種目「家庭」について、協議してまいりたいと思います。現行では、東書を使用しております。発行者は、全部で3社です。

御意見がありましたら、お願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社とも、文章記述の分量を考慮し、写真・挿絵・図・表なども入れながら生徒が理解しやすいように工夫されております。

特に実習については作業過程がイメージできるように多くの写真が掲載されており、実物大の野菜の写真や作品例・挿絵・図表なども豊富にあります。

○中澤委員

各社、専門的な用語には注釈をつけて、簡潔な表現で解説が補足されています。

例えば、教図では、「資料」「参考」というコーナーで説明し、より学習を深められるようにしています。

○有山教育長職務代理人

生徒が学習を進めるにあたり、各社とも各分野の目標や内容をふまえて教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されています。他教科や小学校家庭科と関連させて学習できるようわかりやすくマークでも示されています。

○中澤委員

実習例は見開きで確認できるようになっていて、写真や図で作業の全体が把握しやすいようになっています。実習例でいうと、東書では調理・裁縫ともに実習例が豊富に紹介されていますね。

○高須教育長

他教科とのつながりや、学びの系統性は非常に大切ですね。

では、少し観点を変えて、各社の人権の取扱いについては、いかがでしょうか。

はい、有山教育長職務代理人。

○有山教育長職務代理人

各社とも、文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されています。

例えば、役割等に性別による偏りがないよう取り扱われています。

○中澤委員

手順図では視点の動きを考慮して、横や縦に流れる図に統一されています。また、左利き生徒の用具の使い方が写真で示され、フォントや配色、デザイン等の配慮もなされています。

○山口委員

近年、家族関係が多様になっています。特に開隆堂では「家族や家族生活」に関するページを多くとり、詳しく記述しています。ヤングケアラーについても当事者の声や、自分が悩んでいるときにどういうところに相談すればいいか書かれているところも、大切な部分に触れられているなど感じました。

○高須教育長

課題解決学習や個別最適な学び、協働的な学びなど、子どもたちが「何を学ぶか」だけでなく子どもたちの「学び方」が大切にされていますが「学び方の工夫」

についてはいかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社とも、巻頭で課題解決学習の進め方を丁寧に説明するとともに、各单元の中にも「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して生活の中から問題を見出だし、課題を設定して解決していく学習過程になっていくよう工夫されています。特に教図では、その機会が多く設定されていました。

○中澤委員

各社とも、家庭科での学びを現実の生活につなげていくことができるように、「生活の課題と実践」でより具体的に生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されています。

○有山教育長職務代理者

実習動画や自身の学習を振り返るシートを二次元コードから活用することができます。これも個別最適な学び、協働的な学びにつなげることができるものかと思います。特に東書では、豊富なデジタルコンテンツが掲載されています。

○高須教育長

そろそろ結論を出したいと思います。

今までの話を総合しますと、各社とも様々な工夫がされていましたが、東書という意見が多かったように思いますが、いかがでしょうか。

○山口委員

先ほども話題に挙がったデジタルコンテンツですが、その数だけではなく内容も「動画」「思考ツール」「シミュレーション」など8種類にもわたり、予習・授業中・復習などの様々な場面での活用にも対応し、東書は工夫されていると感じましたので、東書が良いと思います。

○中澤委員

見本本を閲覧した教員からは、シンプルでわかりやすく、各校の生徒や地域の実態に合わせてアレンジしやすいとの意見もあり、評価も高かったと聞いています。

○高須教育長

それでは、東書の声が多いようですので、家庭の教科書は東書を採用するという
ことで御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって家庭は、東京書籍を採用することに決めます。

それでは、種目「英語」について、協議してまいりたいと思います。現行では、開隆堂を使用しております。発行者は、全部で6社です。

皆さんから御意見がありましたら、お願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

各社とも、各単元で学ぶ表現は、どんな目的や場面で使用するのか見通しを持たせた上で、知識を習得し、学んだことを活用しながら言語活動に取り組むことができるよう、工夫されています。

開隆堂では、新しい表現や予備知識を獲得した上で単元の題材について考える配列となっていますし、教出や啓林館では、日常の場面で使用するやりとりを学習するページを多く取り扱っています。

○有山教育長職務代理者

今、中川委員がおっしゃった、学んだことを活用しながら言語活動に取り組むことは、学習の定着にもつながっていくと思います。

○高須教育長

人権の取扱という点では、いかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも、1年生では、英文が書きやすいように4本線ノートの幅や線種が異なっており、基準の色使いや英字のフォントの使用も学年に合わせて使い分けているので、どの生徒にとっても学びやすいように配慮されていると感じました。

○高須教育長

扱われている題材に関しては、いかがでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

各社とも、題材がとても豊富で、日常的なことから社会に、そして世界へと、段階を追って学びやすいように工夫されています。様々な身近な題材を扱っているで、英語や外国の文化に興味を持つ生徒が増えるのではないかと思います。

○高須教育長

内容の程度はいかがでしょうか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

各社とも、分量や内容の提示の仕方について、生徒の発達段階を考慮しているように感じました。

○有山教育長職務代理者

東書、光村では、各単元の初めに、新出言語材料を使用する目的・場面・状況がイラストで示されており、開隆堂では単元を通してできることがマンガで具体的に示されており、学習に向かいやすい工夫がなされています。

実際に教科書を見ていただくとわかりやすいと思いますので、東書1年61ページ、光村1年73ページ、開隆堂1年61ページを開いていただけますか。

○高須教育長

事務局、お願いできますか。

○有山教育長職務代理者

イラストやマンガで導入されているので、生徒が学習に向かいやすい工夫だと思います。

他にも、三省堂や光村では、単元最終ページに文法等を、イラストを用いて分かりやすく示し、学びの振り返りやその後の表現活動に活かせるようになっていますね。

○高須教育長

寝屋川市では、小学校で、国際コミュニケーション科として学習を積み重ねております。

小中学校の接続がより重要となっていますが、各社、何か創意工夫はありますか。
はい、山口委員。

○山口委員

各社とも、1年の冒頭の時間で、小学校で学んだ英語表現を復習できるようになっています。

また、小学校でふれた単語が使用されている場合は、マーク等でその旨が記載されています。東書では、1年の複数単元で、小学校で学んだ表現を復習できるように工夫されています。

○中澤委員

小学校でも、多くの語彙や表現を学んできているので、生徒や教員にとっても、わかりやすいですね。

○高須教育長

そろそろまとめに入りますが、いかがでしょうか。

皆さんの御意見を聞いていると、東書と開隆堂の評価が高いように思うのですが、この2社に絞って進めてもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

それでは、2社に関して御意見お願いいたします。

はい、中澤委員。

○中澤委員

両社とも、それぞれの単元で学んだことを積み重ね、東書では「Stage Activity」、開隆堂では「Our Project」内で設定されている学期目標に結び付く構成となっていますね。

既習事項を繰り返し学んだり、活用したりできるようになっています。

○山口委員

授業等で学んだ英語の知識を、活用を通じて定着させていくことが、英語の授業

の基本だと思います。

調査員の報告にもありましたが、開隆堂では、新出の文法事項を「Scenes」でしっかりと確認や演習を行い、その単元の題材をキーワードや写真、イラストを用いて自分の言葉で表現することを、単元内で扱っています。

○中川委員

単に題材を読んで終わりではなく、題材を通して学んだ表現や内容を再構築して、再度、自分の言葉で表現する活動は重要だと思います。

学びやすさという点では、イラスト等で新出言語を扱っている東書もいいのですが、より具体的なマンガで英語と使用する場면을提示している開隆堂が良いと思います。

○高須教育長

様々な観点で議論していただき、各社とも、生徒に英語力を身につけさせるため工夫されているのわかりました。

その中でも開隆堂という御意見が多いようですが、英語の教科書は、開隆堂を採択するということで、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって英語は、開隆堂を採択することに決めます。

それでは、種目「道徳」について、協議してまいりたいと思います。現行では、日本文教出版を使用しております。発行者は、全部で7社です。

では、御意見をお願いいたします。

はい、中川委員。

○中川委員

道徳が教科化された背景には、いじめ問題がありましたが、今回もいじめに関連する教材は各社で扱われておりました。その中でも、情報モラルに関する教材が多かったように感じます。

○中澤委員

SNSを通した「いじめ」も社会問題として取り上げられているため、教材として扱いながら、正しい判断やルールやマナーを守ることについて考えられるようにしているのだと感じました。

○有山教育長職務代理者

SNSを含む情報モラルに関しては、東書、教出、日文では教材とコラムを組み合わせ、光村、学研、あか図、日科ではユニットで構成されていました。いずれにおいても、教材で学んだことをもとに考えを深めたり、自分事として考えたりしやすくなりそうだと感じました。

○山口委員

総合的に、各社とも、生徒の発達段階を考慮しながら、「よりよく生きること」

について考えられるよう教材を選定されている印象を受けました。共生やキャリア教育など、多様な他者と協働する上で必要な視点もバランスよく配列されていますね。

○中澤委員

日科では、内容項目ごとに教材が配列されており、項目ごとの理解を深めようとされている意図も見えました。

○高須教育長

なるほど。内容については、いずれも充実しているということですね。

その他に特徴的なものはありましたか。

はい、中澤委員。

○中澤委員

個別最適な学びを充実させる工夫が各社で見られました。

各社とも、デジタルコンテンツを掲載しており、日々の学習の補充や発展的に考える際だけでなく、個別に学びを深めたい時にも活用できるのではないかと感じました。

○山口委員

特に、東書、日文では全ての教材で二次元コードが掲載されており、欠席時はもちろん、様々な生徒の学びの機会確保という点においても効果を発揮しそうですね。

○有山教育長職務代理者

内容に関しても、資料、動画、朗読音声等の視聴覚教材が充実しており、デジタルコンテンツに関しても、各社とも人権への配慮がしっかりとされていますね。

○山口委員

工夫という点においては、教材の冒頭ページに違いがみられました。光村、日文、学研では、「視点マーク」や「キーワード・キーフレーズ」、教出では「導入の問い」が示されていました。また日科では、必要に応じて「ウェルビーイングカードマーク」などが示され、その関連について考えやすくしようとされており、あか図については、あえて教材名だけを示しておりました。

○中澤委員

生徒自身が学習を進める中でテーマを設定することも、「主体的な学び」を実現することにつながるのかもしれないですね。

一方で、「テーマ」や「キーワード・キーフレーズ」を記載することで、全ての生徒の学びが焦点化されるというメリットも非常に大きいですね。

○有山教育長職務代理者

各校、様々な経験年数の教職員がいる中、全ての生徒に対し学びの質の担保は重要な視点だと思います。

また、各社とも生徒が体験的に、さらには問題解決的に学習に取り組めるような工夫もされていますね。

○中川委員

東書、日文、学研、日科では、問題解決的な学習の流れについても示しています。生徒が更に考えを深められる構成になっていると思います。

また、東書、教出、光村、日文、学研、あか図では、教材の設問例や展開の工夫だけでなく、教材とは別の項目を立てて考えを深められるようにしていました。

○高須教育長

ここまで、各委員より、各社の特徴について御発言いただきました。今お聞きしていると、どの教科書も特徴があり、充実した内容だと言えます。

ここからは、少し絞って議論を深めていきたいと思います。

御意見ございますでしょうか。

はい、山口委員。

○山口委員

私は、全ての教材で二次元コードが掲載されている東書と日文が良いように思います。学びの機会の確保と学びの更なる発展が期待できると思います。

○有山教育長職務代理者

各社、特徴があり、充実していて悩むところですが、問題解決的な学習の流れまで示しているという点も加えて考えると私も山口委員の言われた2社、東書と日文が良いように思います。

○中澤委員

調査員からの報告では、東書・日文だけでなく、あか図も評価が高かったように思います。

○高須教育長

今、東書・日文・あか図の3社の名前が挙がりましたが、この3社に絞って議論していく形でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

それでは、絞った3社について、さらに御意見がありましたら、よろしく願います。

はい、有山教育長職務代理者。

○有山教育長職務代理者

先程、教材の冒頭にテーマ等を設定している発行者と、あえて設定していない発行者があるという話が出ました。あか図のように、生徒がフラットに教材と出会うことも大切ではありますが、やはり「学習の見通しを持つ」という点において、テーマ等が示されている方がよいと思います。

テーマ等を示すことで、議論も焦点化され、考えを深めたり、広げたりしやすくなると思います。

○山口委員

「めあて」があることで話し合いはもちろん、振り返りの視点が明確になりますね。テーマについて自分の考えを持ち、対話を通して多面的・多角的に考える時間を確保するという点においても、学習の冒頭に「見通し」をもつことは重要だと思います。

先程、教職員の経験年数が話題に挙がりましたが、経験年数の浅い教員にとっても、ねらいに迫る授業を展開しやすくなり、結果的に生徒の学びの充実につながると思います。

○高須教育長

今の話を踏まえると、東書と日文に絞られますが、他にどのような違いがありますか。

はい、中川委員。

○中川委員

日文では、別冊で道徳ノートがあります。教材末尾には考えを深める「考えてみよう」「自分にプラス1」が設定されており、その別冊ノートに自分の考えを整理できるようになっています。

本市では、独自の道徳ノートを活用しておりますが、主に授業の終末、学習を振り返る時に使用していると聞いています。生徒が発言する前に、一度考えを整理するためのツールや教材によってふりかえるための一つの視点として活用できるのではないかと思います。

○有山教育長職務代理者

東書も確かに教材ごとに「つぶやき」の欄が設けられていますが、どちらかと言えば、「メモ」に近いものですね。

「考えを深める、広げる」という点においては、日文のノートの方が活用しやすいように感じました。

○高須教育長

各委員の話をまとめますと、冒頭のテーマ設定がされていて、かつ活用しやすい別冊の道徳ノートがあるという点で、日文が、本市の子どもたちに適しているということになると思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって道徳は、日本文教出版を採択することに決めます。以上、各種目が決定しました。

では、各種目の教科書を確認します。

国語は光村図書、書写は東京書籍、地理は帝国書院、歴史は東京書籍、公民は日本文教出版、地図は帝国書院、数学は啓林館、理科は啓林館、音楽一般は教育芸術社、音楽器楽は教育芸術社、美術は光村図書、保健体育は東京書籍、技術は東京書籍、家庭は東京書籍、英語は開隆堂、道徳は日本文教出版に決定しました。

以上をもちまして、議案第27号「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

ほかに報告はございませんか。

では、ないようですので、これをもちまして教育委員会臨時会を終了いたします。